

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090601-07-526
基本事業：	02	生涯の学びを地域で活かせる人づくり	担当部	教育部
基本事業の成果指標	地域で活動する人材の育成人数 生涯学習ボランティア新規登録数 自らの知識や能力を活かし、地域で活動している市民・団体の数		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度 ~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
地域婦人会及び地域婦人会会員		女性団体として自立・自己改革を目指すリーダー養成・リーダー研修会等を行っている地域婦人会に対して、運営補助として補助金を交付する。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【活動内容】 会員の資質や能力が向上するよう「リーダー研修」等を実施する一方で、以下の講座等の活動を行っている。 （市民大学講座、青少年健全育成支援事業、等）				
地域婦人会の活動を支援することにより、女性の社会参加が促され、女性の地域への進出が活発化することにより、まちづくりの推進に貢献する。		【補助金申請の流れ】 申請書提出 申請内容確認 補助金交付 実績報告				

4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	目標	
		実績	実績	当初	要求	計画	計画		
会員数	人	97	97	300	300				350
研修参加者数	人	33	47	90	90				100
5. コスト									
事業費	計	千円	462	480	495	495			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	462	480	495	495				
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.1					
正職員人件費	千円	773	782	802					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	1,235	1,262	1,297	495				

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	会員の固定化・高齢化により、成果指標の数値が横ばいとなっている。								
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	あり	類似事業として、「市民（旧女性）大学講座補助金」等の地域婦人会を支援する事業があるが、それぞれその目的別に補助金を拠出している。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
令和元年度に地域婦人会の運営体制の変更等を行い、会員数の増加に向け事業を推進していることから、今後も活動を支援するとともに、会員の高齢化や運営に関する課題について注視していく。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
女性が自発的な学習意欲に基づき、豊かな人間性を培うと共に、その資質や能力を向上させる為に行う各種の学習を高める活動を昭和47年の筑紫野市中央公民館開館に併せて活動が始まった。									